

## ● 市町村の基本情報

学校数	小学校16校 中学校7校 特別支援学校1校		
地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		0人
	地域学校協働活動推進員		8人
	統括コーディネーター		1人
	地域コーディネーター		0人
CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小3校	中2校
	地域学校協働本部がカバーしている学校数	小3校	中2校



## ● 活動の実際

## (活動内容)

- ・学習支援—読み聞かせや実習補助、校外学習の引率、お仕事体験の引率・補助ボランティア、自転車教室補助など
- ・環境整備—図書館整備、園芸・除草活動など
- ・地域連携—登下校時の安全指導や行事における校内外安全見守り活動、ボランティアによる草取り・ゴミ拾い、運動会での受付・交通整理・見守りボランティア、また児童による地域清掃の支援など

## (活動で意識していること)

- ・子どもたちの地域の顔見知りをつくり、困った時に助け合える環境、居場所をつくる。
- ・大人がサポートし過ぎないように心掛け、除草活動、清掃活動その他全てが「学びの場」であることを忘れないようにしている。
- ・子どもたちが興味をもち、主体的に参加できるきっかけをつくり、自ら動く行動力、褒められたり認められたりすることで得られる自己有用感・自己肯定感を高められる場をつくる。

(地域学校協働活動推進員の  
当日の動き)

- ①参加ボランティアに当日の流れの説明、役割分担を決める。
- ②地域学校協働活動推進員も活動に同行し、活動指示を行う。
- ③活動後、ボランティアと担当教員にボランティア活動内容について話を聞く。
- ④教頭に報告し、今度の活動に生かす。
- ⑤関係各所にお礼の連絡を行う。

## ● コロナ禍での苦労・工夫

新型コロナウイルス感染症の影響で緊急事態宣言が出され、学校への出入りや集まった活動が制限される中、マスクが手に入らずに困る子どもが出ないようにとの思いから、感染防止に努めながらマスク製作を進めた。また、学校休校中、自宅待機になった児童の見守りの地域巡回を行った。学校再開後は、現場での通常と異なる授業対応に追われ、校舎内の消毒に人手と時間が足りないという実情を知り、地域学校協働活動推進員が中心となり、手洗いサポート、階段清掃、トイレ清掃・消毒、石けん・消毒液の補充や在庫点検補助などを実施した。また、市内企業による簡易手洗いの設置活動により、効率の高い感染予防が可能となった。

## ● 成果と課題 (○成果、※課題)

- 子どもたちからの「ありがとう」が活力になっており、気楽に先生とも話ができて良好な関係を築いている。
- 様々な活動を通して、地域住民と学校との連携強化が図られ、地域全体で子どもを育てようとする意識が高まってきた。
- ※活動内容は充実してきているので、協力姿勢をさらに高めていけるよう、活動を周知していくよう努める。

## ● 関係者の声

- ・子どもたちが安心して学校生活が送れるよう、少しでも役に立つのであれば嬉しい。(ボランティア)
- ・先生の負担が減り、子どもの対応に力をいれてもらえる手助けができて良かった。(ボランティア)
- ・学校や子どもの普段の様子が見られとてもうれしい。(ボランティア)
- ・清掃・消毒をしていただいたおかげで児童との時間を取り戻すことができ、地域と学校が繋がっていると感じられ、とても感謝している。(教員)